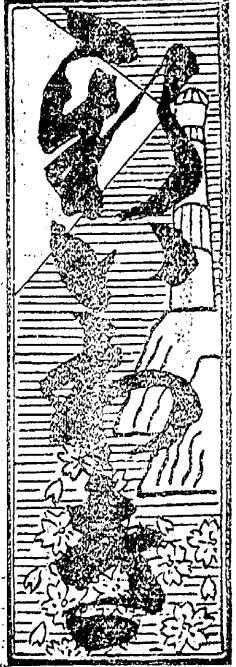


刊夕日七十月六



愈々盛漁期間近し 本縣沖の鯉漁

本縣沖の鯉漁は愈々間近に萬尾の漁獲で水揚相場一尾迫つて目下銚子南東二百海三十錢平均に見積り六萬圓里前後を好漁場としてゐるの總額に達するものと云はが小名濱南東六十海里附近に於ける向後に於ける漁況にも弗々走群を見せしめるは相當有望視されてゐるが盛漁期は今月下旬から七月現下の不景氣だから甚しい一杯らしく漁期は若干遅れ 安値の鯉漁には砂付相場三た様だが各濱漁船は例にも 割前後に低落するものと豫早期から遠征を試み江名の想され現在の鯉節十貫一椀厚盛丸、清正丸、萬世丸を二十五圓乃至三十圓では三初め大抵二、三航海を行つ 割以下でなければ引合はぬた約十八又は一航海七、八と唱へられてゐる。千尾を最高として既に二十

労働を抜きにして なほ一圓餘の欠損 蘭安に養蚕家の嘆き

石城地方の春繭は昨今漸く産費の調査を行った結果に出廻り最盛期に入ったが十よると七貫目の繭（十四圓）數年來ない春繭の馬鹿安相を取るには繭種十五八十錢場は政府の滞貨上處分も桑葉一反歩の桑園半ヶ年分何の好影響もたらさず養の肥料三圓、小作料八圓、養家の懐具合はますます窮新炭電燈代一圓二十錢、簾境に陥り全く手も足も出ぬ消費その他の雑費二圓と見状態となつた、郡養蠶業組合計十五圓となつたが合が今回貸付二圓平均採れば努力を全然ぬきにして想春繭相場を基準として生の計算で結局農家は飲まず

休日 曜日 祭日
一月月 廿五錢 一部二錢
郵税十五錢 一部二錢
廣告料一行四〇錢
印刷所指定廿錢増
發行所 新田町大町五
新田町新田社

農民は田畑を捨て、 土木工事に従ふ

郡南災害工事を巡視して
小林平監督所長語る
小林平土木監督所長は郡南の河川災害復舊工事を巡視して十六日歸郷し同地方の農村不況状態を問のあたり目撃し暗然たる面持で語る所によれば目下鯉川地内四ヶ所で災害復舊工事が行はれてゐるが町村失業救済社では本月三十日午前十時事業なので農村の老若男女から同社樓上に第六期決算を争つて工事採用を嘆願する事があるが中にも不況のためは当期成績は配當はない地方小炭礦から解雇されたらしいが財界不況の中を對四十數名の後山婦が乳呑み合好結果にこきつけてゐる見を背負つて僅か五十錢の當日は向後の事業諸般に就日當を稼ぐために大の男のも協議を遂げ又取締及び中に伍して泣く兒をすかし監査役の満期改選を行ふこ乍ら泥まみれになつて働ら取締役八田宗吉、白井一郎、金成通、渡邊繁太郎、諸橋久太郎、鈴木辰三郎、△監査役永山徳一、田倉孝雄（以上）

江名忠魂碑建設 上水道委員会

江名町在郷軍人分會では今度同村小學校々庭に忠魂碑を建設することとなり目下寄付金募集中。
平町の下水の不完全さは縣急同地内堤防百五十間の土下でも有名で過般一丁目盛護岸を施行されたいとて裏に通行も出来ぬやうに溝長佐藤太市外六名の代表泥を染ひ上げて町民の非難者は十六日平土木監督所へ買つたがそれにも懲りず出頭陳情した。また、兩三日來新田町裏の溝深きをやつて之も長靴でも履かなければ通行出来ぬやうな悪路となり場所が花柳街で交通頻繁な所へ悪臭ふんくとして町の汚觀を害ふ許りでなく傳染病流行季節に向つて衛生上衷心に堪えぬ状態にあり紅帽連を初め附近の者は町當局の没常識を叫んでがうがうたる非難の聲をあげてゐる。

平名物・悪下水 新田町裏は宛然泥海となり 附近町民から非難の聲

少年店員盗む
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信

満洲から
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信
八日朝無事ハルビン入り
藤田中尉通信
藤田中尉通信

株主總會 取締、監査役

磐城水産の
取締、監査役
の満期改選
神谷村鹽地内の夏井川堤防
目下災害復舊工事として
護岸作業を行つてゐるがこ
のため上流對岸である宇宮
前地内に河水が氾らんしし
後梅雨期に入つて堤防欠
壞の虞れあると云ふので至
院してゐるので炊事その他
せられてゐる、加之毒瓦斯
の研究は各國とも益々熾
あつて三十軒の毒瓦斯は廢
廃物となり歐洲文明は茲に
瓦斯彈によりつて全土を焦
死に陥れようと思ふ。

堤防改修陳情 義理の妹に妊娠させ 妻の子として虚偽の届出

平署では数日來平町六間門の一切はしげの妹が同居し三〇〇機庫助役中澤光彌て面倒を見てゐるところ昨（四〇）假名）及同人妻しげ年の暮妹は遂に中澤の胤を（三八）の妹某を秘密裡に宿してしひ去月十五日難産の末死兒を分娩したが世間の體を恥ぢ妻しげの出生子と虚偽の死産届を出したことが發覺したものである

四倉蘭市況
十六日の出廻り一六三貫最高二圓廿六錢、最低二圓、買馴二圓十四錢、掛目十九

國土防空

又爆撃に就て見ても大戰
末期爆撃は三百軒内外であ
つたが今や一千軒以上の爆
弾も出來て僅か二十平方
種爆夷彈は能く三十平方
（約九坪）内の如何なるもの
内にも其の効果及ばすと稱
國皇帝は「將來戦に於ては我が國に於ける都市の延焼

は更に感慨深し、今夜出發また長春入り、南嶺寛城を飛ばし、東支鐵道は危険につき予定を變へて南より北行チ、ハルビに向ふ、明夜たらん（八日夜）
野崎氏の通信
各地の通信をなす等であつたが多忙で書く暇がないのです、各位に對し申辭ありません。ハルビンは北滿の經濟上の中心地であり實際市場であるが稍々認識を得渡滿した感を懐きまされた旅順に戦士の英靈を弔ふて大連にも三泊しました大連は内地に見られぬ埠頭であり、市街は東都以上、道路などは完成して居ります（六月十二日午前十時大連にて）

歐洲に於てすら空襲の慘害は斯の如くである況んや震災の如き慘狀に陥らしむるであらうとの事だ。

農業

稲の病害虫

豫防と管理 (六)

孫農試 伊藤枝師
石城分場

害虫としても澤山の種類があるが先づ最も普通のものとしては、稲虫、浮塵子、其の他に青虫や苞虫がある。稲虫は殆んど毎年発生し陽氣がよく乾燥の年には可なり害をするものである。此の稲虫は一年発生し冬は幼虫で越冬することになる。幼虫の潜伏場所は葉及び刈株であるが本縣では葉に七分刈株に三分の割合に入つて居る、冬を越して幼虫は五月初めに蛹になり一週間で成虫になる。卵は稲の葉の表葉先五分内外の處へ産みつけるが一塊平均五十粒内外で多いものになると百二十粒を一緒に産みつける。而して産みつけの時期は氣候によつて異なるが大體六月上旬が最盛期である。第二回の成虫は大體八月中下旬に発生して地上二尺位の葉の裏の處に卵を産みつける、孵化したばかりの幼虫は硬い葉の内へ喰い入ることが出来ないものだから葉の背の中に喰入し暫らくの間は群居してゐる、其の場所は外部から見ると少しく黄色になつてゐる、之れを鞘枯れと云ふので鞘枯

れ切取りと云ふのは此の幼虫の群居してゐる時に行ふのが理想的で効果も大なのである、第一回発生幼虫は早懸の時などは相當被害するが然し収量にまで影響を及ぼす事は少ない。

最新流行

眼鏡類 値
ユニブ 安
各國時計 特

高橋時計店
平城

ガソリン
モビール油
日本石油株式
會社

特約販賣

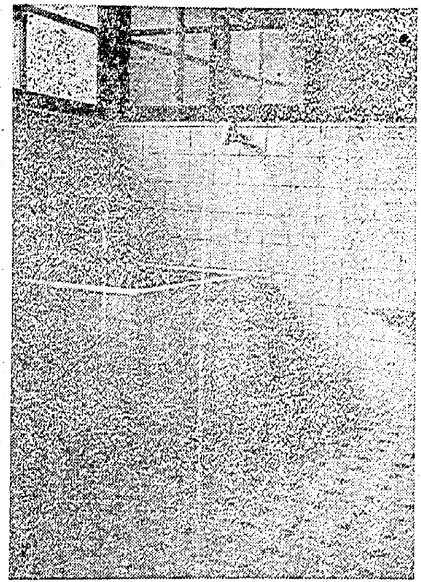
屋問油
店油内關

04661長話電 平城

支店 郡山市
支店 長八二二三
支店 茨城縣
支店 關本縣前
支店 電話長平濁七三
支店 油槽所 出張所
支店 平野町丁
支店 郵便局前

難波醫院
内科 一般
平野町大町新川端
(電話五〇二番)

◇化粧タイル販売並に設計請負
◇一タイルの御相談は當店へ
◇親切第一をモットーとします



大谷建材商店 電話三六六番
平野町 紺屋町

代理店新設

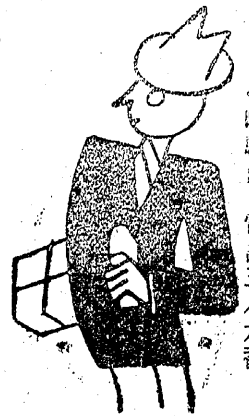
當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出来る健全なる有鄰生命保險株式會社の代理店を引受けました何卒御利用の程を御願致します

有隣生命保險株式會社
平城北代理店 主幹 佐々木龍若
附屬社員 志賀 寛

價之低
質之高
和洋雜貨
山崎屋
平野町新川端
電話五〇二番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平野町南町番
(電話二五八)

模範
裁縫
高島屋洋服店
平野町南町 電話三八六番



一新柄着荷

夏服の御用命は
高島屋へ

内科、小兒科 平野町南町、電話五一一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

外科 整形外科 醫學士 松永憲一
産科、婦人科 院長 木村寅次郎
平野町新川町一九
(電話一六四番) **木村病院**

幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ
肺、肋膜炎、肺炎カタル等
定價(二圓、四圓、六圓)
平野町五丁目角
特約店 山野邊藥局

病淋・毒梅・科兒小・科外内
市原醫院
平野町
(番四一一話電)

應需入院
藤沼醫院
電話五〇七番
平野町 紺屋町

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平野町大工町
電話五九一番

淋病最新藥
美神
一週分四〇〇
二週分八〇〇・五
平野町 代理店 山野邊藥局